

2019 年度基礎ゼミ「多読のレッスン」詳細シラバス

2019 年 4 月 15 日 小田中直樹

[1]スケジュール

・毎月一回、どうしても出席しなければならない全学の会議があり、その際は休講とせざるをえません。また、月曜日は祝日が多く、結局、授業の回数が（このオリエンテーションを含めて）全 10 回と少なくなります。

・これでは「あまりにあまり」なので、授業があるときは、次回から授業時間を 12:30-14:30 とします。つまり、開始を 30 分繰上げます。ぼくの都合で、申訳ありません。

・「30 分で昼食をとれ、というのか？」という当然の疑問・反論が予想されるので、授業中は飲食可とします。つまり、昼食をとりながら授業を受けてオッケー、ということです。

・また 2 時間ぶつつづけで授業をするのはおたがいの健康に悪いので、途中で 10 分ほど中休みをとるつもりです。

(1) 4 月 15 日 13:00 : オリエンテーション

(2) 4 月 22 日 12:30 : 『利己的な遺伝子』を読む……しばらくとんで、

(3) 5 月 20 日 12:30 : 『二重らせん』を読む

(4) 5 月 27 日 12:30 : 『脳のなかの幽霊』を読む

(5) 6 月 3 日 12:30 : 『自由からの逃走』を読む

(6) 6 月 17 日 12:30 : 『服従の心理』を読む

(7) 6 月 24 日 12:30 : 『大衆の反逆』を読む

(8) 7 月 1 日 12:30 : 『リヴァイアサン』を読む……また、しばらくとんで、

(9) 7 月 22 日 12:30 : 『統治二論』を読む

(10) 7 月 29 日 12:30 : 『道徳感情論』を読む

[2]成績評価など注意事項

・この授業で禁止されているのは、授業内容と無関係な私語と、無断欠席です。私語は他のメンバーに迷惑をかけるので、発見した場合は一発レッドカード（履修放棄）とします。無断欠席については、二回おこなわれた場合は履修放棄とみなします。

・これ以外のこと、すなわち、着帽、飲食、昼寝（みつけたら当てますが）、ネットサーフィン（みつけたら当てますが）、内職（みつけたら当てますが）などは、自由です。

- ・この授業は「ゼミ」すなわち少人数授業という性格上、成績評価は「授業への参加」にもとづいておこないます。欠席、遅刻、早退は自由ですが、その場合、成績評価に響くことをあらかじめご了承ください。
- ・なお、どうしても欠席・遅刻・早退しなければならない場合は、授業開始時間までに小田中 (odanaka@tohoku.ac.jp) までメールでご連絡ください。
- ・その他、事情がある場合は、適宜ご相談ください。
- ・「授業への参加」は「授業への出席」とは異なります。出席しても、黙っていてもつまらないし、もったいない。時間のムダです。「授業への参加」とは、発言すること、ディスカッションに参加すること、質問に答えること、あるいは「先生、それ違うと思います」とか批判・反論することなど、授業の進行にコミット（関与）することです。

[3]ゼミのコンセプト

- ・「とにかく読む、わかってもわからなくても読む」うちに、わかってきたり、面白くなってきたりする場合があります。もちろん、結局わからなかったりつまらなかったりしたまま読了し、ムダなことをしたと感ずる場合もあります。でも、ムダか否かは読んでみなければわかりません。そして、読むには時間がかかります。こんな悠長なことができるのは、時間がある学生時代だけです。
- ・ちなみに「多読のレッスン」をしておかないと、社会に出てから大変です。社会人は、職業の種類にかかわらず、大量のテキストを速読し、それにもとづいて意思決定することを求められます。
- ・というわけで、やるなら今のうちです。
- ・なお、授業で取上げるテキストの内容については、わかるか否かは大した問題ではありません。大体、わかるんだったら、授業に出る必要はありません。読んでみて「わからん」で、十分オッケーです。ただし、読んでください。
- ・この授業では、基本的に、なにを言ってもかまいません。「わかりませんでした」も「つまらない」も「なんですか、これ？」も、全部オッケーです。ただし、その場合「わからなかったのはなぜか」とか「つまらないと感じたのはなぜか」とかいった質問が飛んでくる可能性があるので、そのへんは事前に考えておいたほうがよいかもしれません。

[4]ゼミの進め方

- ・取上げるテキストについては、かならずすべて購入してください。本文に線を引いたり、余白にポイントを書きこんだり、大切なことが書いてあるページの角を折ったりする読み方をするからです。
- ・なお『大衆の反逆』については、大学のシラバスではちくま学芸文庫版を指定していましたが、品切れらしいので中公クラシックス版を使います。

- ・また、付箋（ポストイット）を買っておいてください。
- ・授業は、基本的にぼくが皆さんをランダムに当てて答えを求め、そのあと時間があればディスカッションにつなげる、というスタイルを進めます。ただし「正しい答えをしなければならぬ」ことはありません。大体、この授業で扱うのは古典つまり名著つまり「人々のものの考え方に大きな影響を与えた本」ですが、そんな本の読み方の正答なんて、ぼくらに簡単にみつかるとは限りありません。
- ・各回の授業の最初の質問は「内容を、チョー簡単に要約すると、どうなりますか？」と「面白かったですか？」になると思います。この二つの質問に対する皆さんの答えから、質疑応答とディスカッションを始めるつもりです。
- ・テキストについては、本文だけを読めばオッケーです。注、まえがき、あとがき、訳者解説など、本文以外はすっとばしてください。もちろん読みたい人がいたら、読むのを禁止はしませんが、当たり前ですが大切なことは本文に書いてあるので、それで十分です。
- ・その他「こう読んでほしい」という方法については、オリエンテーションで説明します。